

環境トピックス

ISO14001 認証取得局、77局に!

公社では、環境負荷の削減に継続的に取り組んでいくなどの環境施策の一環として、環境マネジメントシステムのシンボルとしての国際規格ISO14001について、マルチサイト方式により、平成17年11月に全国27のパイロット郵便局で認証取得しました。平成18年度は引き続き全国拡大をはかるため新たに地域区分局など50局を加えた77局のパイロット郵便局で認証取得を目指し、平成17年度と同様にマルチサイト方式により平成19年3月に認証取得を達成しました。

1環境マネジメントシステムについては、35ページをご覧ください。
2マルチサイト方式とは、77局のパイロット郵便局を1つの組織としてISO14001の認証を取得する方式



ハイブリッド車、新たに5両導入!

郵便集荷用に使用している貨物自動車(2t車)へのハイブリッド車の導入も計画どおり順調にすすめられ、平成18年度には更改時に新たに5両のハイブリッド車を導入しました。平成17年度に導入された53両を含め、現在58両が稼働しています。



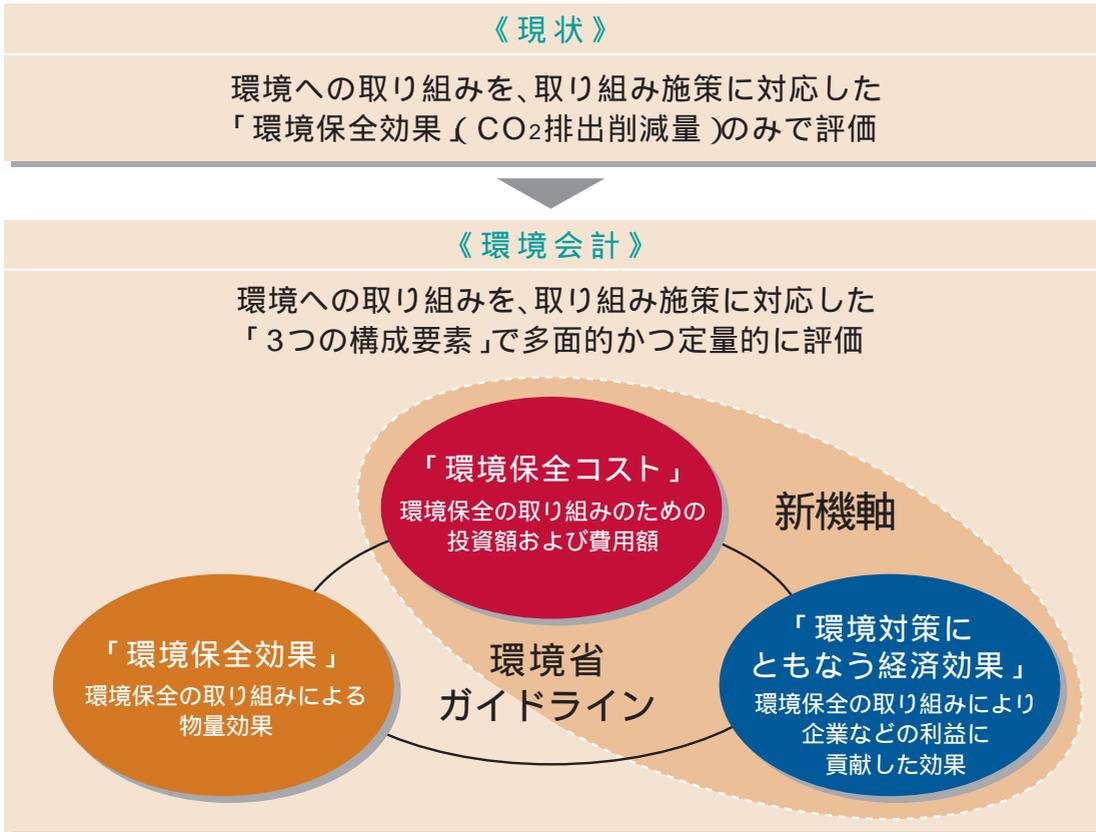
「環境会計マニュアル」の作成および導入準備の開始

環境中期計画を対象範囲として、環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に準拠した
 会社における環境会計の手法を本格的に検討しました。
 検討内容をふまえて、「環境会計マニュアル」を作成、民営・分社化後の
 郵政グループとしての環境会計の導入のための準備を開始しました。

環境会計の目的

各種の環境への取り組みを多面的かつ定量的に評価することを目的とします。

環境への取り組みの評価軸



環境会計の導入によるメリット

取り組み施策のために投入した「環境保全コスト」の妥当性を、「環境保全効果(物量単位)」および
 「環境対策にともなう経済効果(貨幣単位)」と関連づけることによって、事後的な分析が可能となります。

効果がわかりにくい傾向にある環境保全コストに対する効果が、分析可能な「見える化」につながります。